

活動名 センス・オブ・ワンダーを感じよう

団体名 Nature Adventure

代表者名 庭田 凌央（人間科学部こども学科3年）

はじめに

Nature Adventure は、大学近郊の小学生ならびに保護者を対象に「自然と触れ合う企画」や「科学実験を体験する企画」を実施し、自然や科学に対する感動を共有することを目標として活動してきました。

「自然や科学に触れることで、身近な自然と親しむことの楽しさや、ある種の感動を子ども達に体験してほしい」というセンス・オブ・ワンダーの考え方のもと、活動を行ってきました。今年度は星稜ジャンププロジェクトの採択5年目であることから、プロジェクトとしては最後の活動年となりました。

活動内容

2018年度は、こども学科の学生を中心に30名のメンバーで活動を行ってきました。

6月16日には金沢市立小坂小学校の1年生保護者会からの要請を受けて、クラス行事の企画・運営を担いました。約2時間のプログラムの中では、科学的な要素としてのビニール袋ロケット作成を中心に据えましたが、玉入れや鬼ごっこ・宝探しなど、体を動かしながら楽しめる遊び要素を加えて、親子が楽しめるイベントとしました。

8月20日には金沢市立小坂小学校の3年生以上の児童を対象に、金腐川の魚を実際に採集して生態を学ぶサマースクールを企画運営しました。小坂小学校の先生方との打ち合わせ、現地の下見、予行と入念な準備を進め、当日は充実した活動とすることができました。

Nature Adventure の最大のイベントとして、11月3日、4日の流星祭の2日間、こども向けの体験イベント、サイエンスワールドを開催しました。1日目は「目の不思議」、2日目は「ふわっとパンケーキ、しゅわっとラムネ」と2日間の内容を変えて午前午後で計4回開催しました。

2月9日には研修として「サイエンスヒルズこまつ〜ひととものづくり科学館〜」へ行き、展示の

見学とこども向け工作を体験して来ました。

成果、結果の考察

サイエンスワールドでは、小学生には少し難しい科学の題材を、小学生向きにアレンジを加え、わかりやすく、なおかつ楽しい内容にするために、メンバー全員で一致団結してサイエンススクールの準備や本番に尽力してきました。実施後のアンケートでは「楽しかった」「わからなかったことが分かった」という意見が多数寄せられ、準備段階の努力が成果に反映することを実感し、おこなってみて良かったと思いました。また、これらの活動を通して、メンバーの指導力や運営力やプレゼンテーション能力の向上にもつながったと考えています。メンバー一人一人が主体的に活動に参加し、協力して活動してきた中で、自分を超越する力がついたのではないかと考えています。

今後の課題、展望

Nature Adventure として5年間活動をしてきました。多くの参加学生の頑張りもあり、活動から地域の期待や信頼を得て、本年度の活動に繋がったイベントもあります。また、イベントを行うごとに来てくださる子どもや保護者の温かい言葉に何度も励まされ、活動をすることができました。

本年度で Nature Adventure としての活動は終わってしまいますが、メンバー一人一人がここで学んだことや経験したことを無駄にせず、それぞれの活動に活かしていきたいと思っています。



写真 11月4日のサイエンスワールドを終えて。